

当月採取した試料について、放射性物質測定を行いました。

結果：製品、洗浄水については放射性物質の検出はありませんでしたが、
空調フィルターについてはセシウムが検出されました。但し、製品への影響はないと認識しています。(下記説明参照)

放射能分析結果(2014年7月分)

検体	測定項目				放射線 μSv/h
	放射性 ヨウ素	放射性セシウム			
	I-131	Cs-134	Cs-137	Cs-136	
単位	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	
製品(穿刺針)	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*2}
洗浄水	ND ^{*3}	ND ^{*3}	ND ^{*3}	ND ^{*3}	-
空調フィルター (外気導入)	ND (検出下限:21)	130	340	ND (検出下限:13)	-

*1) 検出せず(検出下限値=6~7)

*2) バックグラウンドと同等

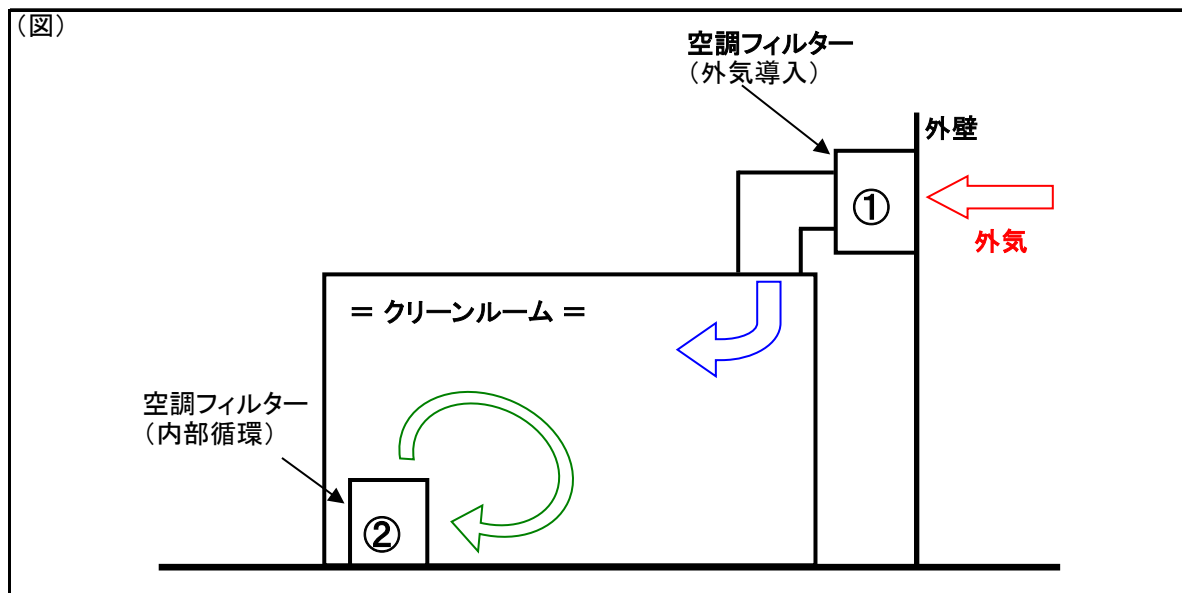
*3) 自治体HPより(期間:2014/6/24~2014/7/23)

今回、空調フィルター(外気導入)(下図①)に放射能が検出されました。事故後7回目の測定(前回2014年1月測定)となりますが、前回同様、大気中の塵に含まれる放射性物質がフィルターに付着し蓄積した為と考えられます。

○今回の数値は、2013年1月に測定した数値とほぼ同等の数値となっております。また、事故直後(2011年5月)に測定した数値の約1/800であり、2013年1月から現在まで4回分の測定では、数値は500Bq/kg以下で安定しております。(表1『放射性セシウム検出推移』参照)

○以前の調査において、当外気導入フィルターにて大部分が除去されることが確認されており、また外気導入フィルターを通過した放射性物質は、内部循環フィルター(下図②)にてさらに除去されることが確認されております。(2011年7月調査済み)

弊社周辺環境における大気中の放射線量は事故直後に一時的に増加しましたが、その後現在に至るまでに新たな増加は無いと考えられ、またこのクリーンルーム内で製造された製品からは放射性物質の検出はなかったことから、クリーンルーム内環境への影響はないと認識しております。



(表1)放射性セシウム検出推移

	2011年5月	2012年1月	2012年7月	2013年1月	2013年7月	2014年1月	2014年7月
Cs-134	250,000	2,100	500	140	83	62	130
Cs-137	270,000	2,700	740	290	190	170	340

(Bq/kg)